

平成 2 1 年度 甲南学園 事業計画書

はじめに

甲南学園は4月21日に創立90周年を迎えます。この記念すべき年に新学部「マネジメント創造学部」を西宮キャンパスに、「フロンティアサイエンス学部、同研究科」をポートアイランドキャンパスに開設し、平生「甲南100年の計」を実現するための一步を踏み出します。経済情勢が急速に悪化し、底の見えない大不況への軌跡をたどりつつありますが、学園はこの環境変化を構造的な適応を図るための重点化策に取組む好機ととらえ、これまでの着実な財務体質を維持しつつ、高まる教育の質向上への要求に応えるために、中期経営計画事業を着実に実行し、全学園を挙げて「人物教育優先」の教育を推進してまいります。

平成21年度は、平成18年度から平成22年度までの5箇年を対象に「21世紀に輝く学園」づくりを目的に策定された中期経営計画の4年目にあたり、同計画の主要事業を堅実に実施できるよう、学園資金計画に沿って必要な措置を適時的確に講じます。また、この中期経営計画を踏まえつつ、以下の事業に取り組みます。

平成21年度中期経営計画主要事業概要

1. 「人物教育優先」に基づく教育の質向上に挑戦する新学部の開設等

(1) 理工学部の再編

知能情報学部の開設（平成20年度）、物理学科の再編（平成20年度）、機能分子化学科の再編（平成21年度）による理工学部定員の見直し及び組織的な再編を完了し、施設・設備を整備しつつ、学部教育の更なる充実発展を図ります。

(2) CUBE西宮「マネジメント創造学部」の開設

マネジメント創造学部を本年4月に西宮キャンパスに開設します。

(3) FIRST「フロンティアサイエンス学部及び同研究科」と先端生命工学研究所のポートアイランドキャンパスへの移転

最先端の理系融合領域「ナノバイオ」を学ぶフロンティアサイエンス学部・同研究科を本年4月ポートアイランドキャンパスに開設します。また、合わせて先端生命工学研究所を同キャンパスに移転し同学部・研究科との強固な連携を構築します。

2. 学園創立90周年記念募金事業（平成18年度から22年度）

(1) 「人物教育優先」創立者平生鈇三郎記念教育振興事業

人物教育優先平生拾芳奨学金制度：平成18年度に創設した「甲南90周年栄誉スカラシップ」（大学）、「甲南90周年オナースカラシップ」（高等学校・中学校）により継続して給付します。また、教育改革を牽引する組織として「甲南平生総合教育研究センター（仮称）」を構想し、平成20年度に設置した「平生国際フォーラム」の定着とグローバルな発信を更に強化します。

(2) 六甲アイランド総合体育施設整備事業

整備計画に基づき、六甲アイランド各グラウンドの人工芝化、陸上競技場の400×6レーン化等の各種工事に着手します。

(3) 高等学校・中学校新体育館整備事業

新体育館の建設計画の具体化を図ります。

・大学・大学院関係

1. 教育

(1) 学部教育充実のための多様な取組み

これまでの様々な取組みを継続、発展させ、各学部・学科の人材養成の目的の実現に努めます。学部段階の教育においては、中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」(平成20年12月24日)をうけ、幅広い学び等を保証し、「21世紀型市民」に相応しい「学習成果」の達成を果たすべく、新たに特設科目「平生精神を現代に生かす：社会生活と倫理」を開講し、平生鈆三郎の建学精神である徳育・体育・知育を基盤とした倫理教育をとおして建学の精神を人材養成に生かしていきます。また、甲南女子大学との単位互換制度、西宮市と西宮市にある大学が協力する西宮大学共通単位講座に参画し、大学間の連携をさらに展開していきます。その他、厳格な成績評価と学生が適切な履修計画を立てるための環境を整備・促進することを目的にGPA制度を本格実施、入学前教育、リメディアル授業等の補完教育を充実させ、教育の質の向上を推進します。

(2) 大学院教育充実のための多様な取組み

これまでの様々な取組みを継続、発展させ、各研究科・専攻の人材養成の目的の実現に努めます。法科大学院においては、学園の第2期戦略プロジェクトの開始年度とし、中堅ロースクールとしての地位を確立するために学習指導を含めての活動を強化します。会計大学院においては、公認会計士試験早期(在学中又は修了後初回)合格を目的にカリキュラムの検証、授業改善、公認会計士試験の動向分析等を行い、公認会計士試験に対応した学習指導体制を引き続き強化します。

(3) FD活動の推進及び自己点検・評価の公開

これまで取り組んできた全学的な「教育の質」という視点を更に深め、GPA制度実施後の検証、FDフォーラム・講演会の実施、学外FD研修・フォーラムへの教職員派遣、授業評価アンケートの分析・活用方法、シラバスのあり方の検討、新任教員懇談会の開催等FD活動を推進し、特色ある教育の具現化を目指した「甲南平生GP」等の活動推進を引き続き図ります。

大学基準協会による認証評価結果(平成19年度)をもとに、教育の質の向上に継続して取り組み、その結果について積極的に公表していきます。また、法科大学院については平成19年度に実施した自己点検評価、平成20年度の認証評価をまとめた報告書を作成、公表し、会計大学院については大学基準協会に認証評価の申請を行います。

FD(ファカルティ・ディベロップメントの略)

教員の授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取組みの総称。

甲南平生GP

本学の特色として明確に打ち出せる教育改革の取組みを教職員に募集し、優れたプランは、文部科学省の「現代GP」「特色GP」に応募するとともに、全学的な支援体制を整えて実行することを目的としています。

(4) キャリア教育の推進

平成18年度文部科学省「現代G P」に採択(平成20年度終了)された「価値創造のできる21世紀型教養人の育成プログラム」の成果を活かし、キャリア教育カリキュラムを継続的に実施し、新たに3年次配当の「プラクティカル・キャリアデザイン科目」を開講します。また、平成20年度「甲南平生G P」に採択された「キャリア教育の発展型を通して培う学士力」の取り組みを推進します。

現代G P「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」

文部科学省が各大学からの応募を受け、学生教育の質の向上などの大学教育改革の取組を選定し、財政的なサポートや幅広い情報提供を行い、各大学などでの教育改革の取組を促進することを目的としています。

(5) 留学支援プログラムの推進

海外への留学生の大幅増をめざし、外国大学との協定に基づいて実施する「甲南プログレス・プロジェクト」の更なる拡充を図るべく、欧米のみならずアジアの協定校を新たに探り多文化理解を支援します。

甲南プログレス・プロジェクト

多様化する国際化社会において、国際人としての素養を身につけ、豊かな人格形成を実現するため、ユニークなプログラムを海外の大学と共同で開発し、年間100名の学生を海外の大学へ送り出すプログラム。

(6) 学修支援の推進

推薦入学手続き者等を対象とした入学前教育プログラム、リメディアル教育や情報システムを活用した各学部の特徴的な学修支援プログラム、履修指導を持続的に実施し、学生の学習意欲向上に向けた取組を強化します。

(7) スポーツ強化支援策の実行

平成19年度より試行的に開始した強化指定団体制度を実施し、現在の指導体制を充実させるとともに、強化支援ネットワークの強化、体育会課外活動団体への関心喚起と入部促進、学修・学生生活に関する指導支援を図ります。

2. 研究

(1) 平生太郎基金科学研究奨励助成等

自然科学(医学を含む)及びそれを中心とした複合分野を対象に、本学が世界水準の研究拠点となる夢を実現しようとする気概のある研究に対して平生太郎基金により奨励助成します。また、平成21年度より同基金の遺贈者の精神に喚起され、学園が同様の趣旨で「甲南平生記念人文・社会科学研究奨励助成」として人文・社会系分野において助成金を交付します。

平生太郎基金科学研究奨励助成

学園創設者平生鈇三郎のご子息、平生太郎氏のご令室である故平生愛子氏から遺贈を受けた財産で、科学研究を奨励することを目的とした基金。平成6年より開始された学内の研究奨励助成制度。

(2) 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の展開

文部科学省の私立大学学術研究高度化推進事業は平成20年度から私立大学戦略的研究

基盤形成支援事業として再編され、先端生命工学研究所は平成16年度から5年にわたる学術フロンティア推進事業の成果を踏まえ「分子クラウディング環境を活用した遺伝子発現系で活躍する機能性分子のデザイン・開発システムの構築」をテーマに採択をめざして申請します。また、私立大学学術研究高度化推進事業のオープン・リサーチ・センター整備事業、社会連携研究推進事業、20年度に採択された戦略的研究基盤形成支援事業等の研究を継続します。

【私立大学学術研究高度化推進事業の継続研究一覧】

<p>(1) オープン・リサーチ・センター整備事業 ・量子ナノテクノロジー研究所 「ナノ構造システムにおける量子相関の研究」 (平成17年度から5年間)</p>
<p>(2) 社会連携研究推進事業 ・ビジネスイノベーション研究所 「地域経済クラスター創造に向けての社会連携研究」 (平成17年度から5年間)</p>

【私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の継続研究】

<p>・人間科学研究所「心の危機の見極めと実践的ネットワークの創造」(平成20年度から5年間)</p>

(3) 研究支援体制の強化

従来の支援活動に加えて人文・社会系の研究支援を強化します。平成19年度に整備した「学術研究奨励制度」を活用し、科学研究費補助金の獲得を強化するとともに、その他の研究開発事業に係る各種助成金の積極的獲得を図る支援体制を強化します。また、文部科学省による「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」に対応すべく、公的研究費の適正な管理と執行に努めます。

(4) 知的財産管理体制の強化

知的財産ハンドブック及び知的財産Q&A集の改正版を作成し、本学における知的財産の取扱いについての周知を図るとともに、契約手続き等の実務面での支援を図ります。

3. 学生支援活動

(1) 経済的に修学困難な学生に対する特別措置の実施

深刻な経済不況と雇用情勢の悪化に伴い、経済的に修学困難な学部学生を支援するため、平成21年度の時限的な緊急特別措置として、学費支弁者の失職、会社倒産等による家計の急変等一定の要件を充たす者(平成21年度入学生を含む)について、授業料の半額相当額を減免します。

(2) 奨学金・表彰制度の充実

甲南90周年栄誉スカラシップ(募集は平成24年度まで)による奨学金給付、留学、教職等を目指す者に対する目的別貸与制奨学制度、成績優秀者の表彰制度等の充実を図ります。

(3) 学生生活の活性化

学生の自発的な活動を促進させることを目的として、学生の企画に助成する「甲南21クリエイティブ・プラン」、「甲南21クリエイティブ・プラン・ディベロップメント」を引き続き実施します。また、自治会・スポーツ・文化活動等をとおして大学の名誉を高めたものに対して学長顕彰を行います。

(4) 学生支援ネットワークの構築

平成20年度「甲南平生GP」に採択された「学生の個性化を支える心と体の成長支援」の取り組みとして、西宮、ポートアイランド両キャンパスの新学部での学生支援を視野に両キャンパスに学生相談室を立ち上げ、複数キャンパスをつなぐ学生支援ネットワークを構築するとともに、学生支援体制の充実方策の一環として、学生部、医務室、学生相談室、スポーツ・健康科学教育研究センターと連携し、個々の学生の能力や特性に応じた成長支援の体制づくりを模索します。

(5) キャリア形成・就職支援

学部の特性を考慮したプログラム、マナー教育、インターンシップ・ボランティアプログラム、「企業研究講座 in TOKYO」等を継続実施するとともに、進路満足度の向上をめざし、多様な進路に応じたプログラムの実施、保護者からの相談対応等を通して、キャリア形成・就職支援の充実・発展を図ります。また、教職志望者の様々なニーズに応え、教職教育センターにおいては、年次別の講演会や教員採用試験に向けた教職実践講座に加え、平成20年度に整備した共同研究・実習室を活用した新たな講座企画を推進し、教職志望者の学修から就職までを一貫して支援する体制を更に強化します。

(6) 父母対象の教育懇談会の実施

保護者の方々に学生生活の理解と関心を深めていただくことを目的とした「教育懇談会」は、本学岡本キャンパスのほか、地方（名古屋・岡山）で年2回開催します。

4. 社会連携・貢献活動

(1) 地域連携・貢献活動の推進

シンポジウムや研究会を通して各研究所での研究成果を社会に向けて発信します。文学部内に設置した「コミュニティ・デザイン・センター」を中心とした「地域連携プロジェクト」に引き続き取り組むとともに、学内博物館実習施設「ギャラリー・パンセ」での展示発表、図書館・サイバーライブラリの公開利用等地域とのつながりを図ります。また、学生相談室においては、地域で大規模な災害が発生した時の被害者支援の一翼を担えるよう東灘被害者支援連絡協議会へ参画します。

地域連携プロジェクト

本学の教育理念と本学が立地する地域ニーズを背景として、神戸市東部～芦屋市や西宮市にまたがる阪神間文化圏における「新たなコミュニティの創生」に学生、教職員がともにかかわりながら、大学が地域とコミュニケーションする教育プログラム。

(2) 高大連携の推進

大学の教育資源を高等学校に提供するだけという一方通行型の高大連携から双方向型の高大連携へと進め、学生・生徒の育成を連続的な視点から見た教育改善の検討、双方の教育活動への参画等につなげられるよう、高大連携聴講生制度の充実、各学部・研究所での取り組みの拡充等多面的な連携を図ります。

(3) 教育委員会との連携強化

「数学理科甲子園」、「NHK杯全国高校放送コンテスト兵庫県大会」等の実施に協力し、知名度の向上と社会貢献を図ります。また、教職課程を置く大学として、卒業生教員や近隣の学校に勤務する教員のニーズに応えるために教員免許状更新講習の実施体制を整備します。

(4) 産官学連携の推進

本学の知的財産を有効活用するため、展示会、新技術説明会等で積極的に情報を発信しま

す。また、新たにJST(科学技術振興機構)の支援制度を活用した基礎的な研究成果を含めた技術発表会である「Innovation Bridge」に参加します。展示会への出展に際しては、学外機関との連携とともに、知的財産教育の一環として展示会への学生参加を計画します。

(5) 生涯学習の支援

社会人講座、各種シンポジウム、公開講座、「ひょうごオープンカレッジ」、「ジュニアスポーツ教室」等を通じて、生涯学習の機会を社会・地域に提供します。

5. 環境整備

(1) 新キャンパスの施設管理体制の確立

新キャンパスのビル管理、清掃、警備、防災、省エネルギー等の施設管理体制の確立を図るとともに、先端生命工学研究所移転等に伴う岡本キャンパス西校舎・北校舎の再開発計画を策定します。

(2) 情報インフラ整備の推進

教育研究を支え社会貢献に資する先端的な情報環境を維持・発展させます。学内ユビキタス環境の安定稼働とセキュリティ強化、学修支援ツールとしてのポータル・システムの機能充実と利用を促進します。また、平成19年度に整備した「新情報教育システム」の一層の充実を図ります。

(3) 快適・安全なキャンパス構築の推進

キャンパスバリアフリー化の推進、岡本キャンパスグラウンドの人工芝化、石積擁壁の崩落及び植栽の倒木防止等、快適・安全なキャンパス構築を図るとともに、今後の方針を明確にするためのキャンパス整備マスタープランを策定します。

6. 学生募集・入試に係る各種事業

(1) 学生募集活動の強化

本学志願者の増加傾向の維持を図るべく、高校生対象の説明会・オープンキャンパスに加え、高等学校教員を対象にした説明会等を実施し、学生募集活動を強化します。また、教育懇談会の地方会場において、入試相談を実施し地方都市における知名度向上を図ります。

(2) 協定校・指定校との連携

指定校推薦依頼校を対象とする教育交流会の定着を図り、協定校推薦入学制度の推進等多面的な連携を図ります。

協定校推薦入学制度

高大連携活動を通じての両校の教育理念・教育方針についての相互理解のもと、大学の教育内容を深く理解し、入学意欲の高い入学者を高校の推薦により、一定数一定期間、大学が継続して受け入れる推薦入学制度。

(3) 指定校推薦入試の推薦依頼校との交流及び推薦入学者の入学前教育の充実

指定校推薦入試の推薦依頼校との交流を強化するとともに、推薦入学者の入学前教育の充実を図ります。

(4) 大学院入試制度の多様化

専門職大学院の志願者増をめざし他大学院の動向を把握し、入学試験の時期、受験会場等の見直しを図ります。また、多種多様な説明会を実施、ホームページを活用した広範囲にわたる情報提供等を行い、多様な独自の広報活動を強化します。

．高等学校・中学校

1．教育

(1) 中高6年一貫教育システムの構築

甲南大学、そして世界の大学を目指す中高6年一貫(2-2-2、基礎・応用・発展)の新教育システムを進化・発展させるために、人間力・対話力の充実に向けた日本語・国際語の言語リテラシーの養成強化、キャリア・ビジョン養成のための「キャリアリサーチ」科目の充実、進路選択にかかわるコース再編、グローバル・スタディー・コース開始に向けた取組みを推進するとともに、国際交流活動の更なる充実を図ります。

(2) 甲南一貫教育の実現

平生精神をバックボーンとする甲南一貫教育を実現するために、「よき仲間たち」=活躍するOB・学年を超えた学友たちとの豊かな人脈形成、中高大連携講座やe-learningによる高大連携講義の充実、甲南小学校との連携強化を図ります。

(3) 伝統に根ざすイノベーションを実現する体制

中期経営計画4年目を迎えるにあたり、理事長・校長の経営方針の下に、人物教育率先、教育内容の更なる充実・発展を図るため諸機関と連携し、教員組織活性化のための組織・人員体制の強化や教員研修制度の充実、広報戦略の強化を図ります。中高6年間一貫教育システムの更なる発展を推進します。

2．学習活動・学校生活支援活動

学力向上を目指した日常の学習意欲喚起の体制を構築するため、7限授業の設置、学習センターでの学習支援の充実、メールマガジンやe-learningを活用した家庭学習との連携、海外提携校とのクラブ間交流を推進します。

3．環境整備事業

安全・快適な環境整備のために、定期的な施設・設備の点検・改修を行います。

4．生徒募集・入学試験に係る活動

新たに入試広報部を設置し、広報活動を一層推進します。

．法人

1．学園創立90周年記念式典の挙行と募金事業の推進

4月21日創立記念日に学園創立90周年記念式典と祝賀会を神戸ポートピアホテルにて挙行します。また、募金事業の継続的な募金を働きかけ、創立者平生鈆三郎記念教育振興事業、六甲アイランド総合体育施設整備事業、高等学校・中学校新体育館整備事業を推進します。「六甲アイランド総合体育施設整備事業」については改修工事を開始し、高等学校・中学校体育館整備事業については、計画具体化に向けた課題を抽出します。

2．管理運営・財政

(1) 内部統制の確立

教育・研究機関としての社会的責任を果たすべく、監査結果、リスク管理の進捗管理及び評価を行う体制を構築し、必要に応じた組織再編を検討します。

(2) 新給与制度の構築及び職員組織体制・人事制度の再構築

教学の質の向上と社会貢献を進化させ、学園の発展と個人の成長が相関する新給与制度を構築します。また、より高いレベルの学園行政を担うべく事務組織、職種、配置、研修体制等を見直し、効果的な人材活用を図るとともに、教職員がいきいきと個性を発揮して働ける職場を目指したメンタルヘルスケア体制を構築します。

(3) 安定的な財務体制確立のための施策実施

中期経営計画主要事業の動きに応じ、新学部完成年度（平成24年度）までの収支推計を作成し、学費見直しのための環境整備、学園全般の組織・人事体制整備の施策検討、新学部関連予算の厳格な管理を実施します。

(4) 施設設備の適正管理及びコスト削減の実施

物品調達規程遵守の徹底、規程整備を含めた省エネルギー推進体制の構築、事務部門の次世代のシステム導入に向けた取組み等を推進し、コスト削減及び業務の効率化を図ります。

(5) ネットワークキャンパス東京における首都圏での活動強化

「ネットワークキャンパス東京」の公開講座の定着を図り、首都圏における情報発信・交流を推進します。また、首都圏におけるキャリアセンターの就職活動支援を強化するために、卒業生による就職サポートのためのネットワーク(KOMNET)の更なる充実を図ります。

(6) フランス甲南学園トゥレーヌ生徒募集の再検討及び管理運営の強化

進学市場への積極的なアプローチ、関西圏・首都圏を重点エリアとして集中的な活動の展開による生徒募集活動の抜本的再検討を図るとともに、フランス現地との連携、財務管理の強化等フランス甲南学園トゥレーヌ日本事務所の役割と責任が果たせる体制づくりを推進します。

3．広報活動・卒業生との連携

(1) 広報活動の充実・強化

中期経営計画主要事業の展開を軸に、戦略的な広報活動を展開し社会的なブランド強化を図ります。また、創立者平生鈆三郎の日記の公開に向けた出版を開始します。

(2) 卒業生との連携強化

同窓会、各地甲南会との連携強化を図るとともに、同窓生とのネットワーク強化、卒業生の学園への理解を深めていただくことを目的に「オール甲南の集い」を開催します。